

建築電気設備施工管理基準

【 上水道編 】

平成 17 年 2 月

京都市上下水道局

建築電気設備施工管理基準(案) 目次

第1章 総 則

| | |
|------------------------------|-------|
| 1 目 的 | (1) |
| 2 適用範囲 | (1) |
| 3 管理の実施及び方法 | (1) |
| (1) 施工管理 | (6) |
| (2) 施工計画書等 | (6) |
| (3) 機材搬入の報告 | (6) |
| (4) 施工の確認及び報告 | (6) |
| (5) 監督員の立会い及び工事記録の整備 | (7) |
| (6) 工事写真 | (7) |
| 4 本書の使用に当たって | (7) |
| (1) 凡 例 | (7) |
| (2) 単 位 | (7) |
| (3) 管理目標値 | (7) |

第2章 管 理 表

| | |
|--------------------------|----|
| 1 一般共通事項 | 1 |
| 2 電力設備工事 | 8 |
| 3 発電設備工事 | 30 |
| 4 通信, 情報設備工事 | 31 |
| 5 共通事項(絶縁抵抗, 接地抵抗) | 43 |

第1章 総則

第1章 総 則

1 目 的

この基準は、国土交通省大臣官房官庁営繕部「電気設備工事共通仕様書（以下「共仕」という。）」の第1編 1.2.2「施工計画書」 1.4.2「機材の搬入」及び1.5.2「一工程の施工の確認及び報告」等に基づき、契約図書に定められた条件に適合するか否かの確認方法を示している。この基準に基づき統一的に施工管理することにより適正な施工品質の確保を図ることを目的とする。

2 適用範囲

この基準は京都市上下水道局が施行する建築電気設備工事に適用する。ただし、工事の種類、規模、施工条件等より、この基準によりがたいときは、監督員の承諾する他の方法によることができる。

3 管理の実施及び方法

(1) 施工管理

施工管理は、工事内容を把握し、この要領の第2章管理表に基づき適切に実施する。

(2) 施工計画書等

「共仕」1.2.1,1.2.2及び1.2.3に規定する実施工程表、施工計画書、施工図等は第2章管理表に基づいて作成し、監督員の指示した時期に提出し、承諾を受けるものとする。ただし、施工計画書については、品質計画（工事における工法等精度等の目標、品質管理及び体制）のみ承諾を受けるものとする。

(3) 機材の搬入報告

「共仕」1.4.2に規定する機材の搬入報告は、第2章管理表に基づいて作成し監督員に速やかに報告する。

(4) 施工の確認及び報告

「共仕」1.5.2に規定する一工程の施工の確認及び報告は、第2章管理表の「管理内容」欄に示す工程が終了した時点で、「管理方法」欄に示す方法により施工の確認を行い、その結果を「提出資料」欄に示す文書により監督員に報告する。

(5) 監督員の立会い及び工事記録の整備

工事請負契約書第14条「監督員の立会い及び工事記録の整備等」に規定する記録は、第2章管理表に基づいて作成する。

なお、第2章管理表の「提出資料」欄は、必要と思われる工事記録の標準例を示しているため、当該工事において必要な提出資料については、あらかじめ、監督員と協議して定めることとする。

(6) 工事写真

「共仕」1.2.4「工事の記録」に規定する工事写真は、第2章管理表に基づいて作成し、使用材料の品質、施工状況、出来高が明確に確認でき、又は判定できるものとする。

なお、工事写真の撮り方については、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方建築設備編」を参考とする。

4 本書の使用に当たって

(1) 凡 例

承：監督員の承諾を受けることが「共仕」に示されているもの

検：監督員の検査を受けることが「共仕」に示されているもの

立：監督員の立会いを受けることが「共仕」に示されているもの

共：施工精度の許容誤差が「共仕」に示されているもので、この値は遵守しなければならないことを指し示す。

：チェックマーク。レ点を記入するための枠を示す。

(写)：原本の写しを提出資料とするものを示す。

(2) 単 位

特記のない数字の単位はミリメートルとする。

(3) 管理目標値

図面や、仕様書に規定された数値は施工図、施工計画書として他工種との取合いや納まりを考慮した数値に書き改められ、この数値を目標に施工がされる。目標とした数値と施工結果には当然多少の差が生じるが、この差がある限度以上になると発注者の要求する品質や、次工程に支障をきたす要因としての管理限度を超える。この管理限度を具体的数値で示したものが許容値である。品質管理の手法においては、この許容値を超えないように管理を実施しなければならない。

このために目標値を定めて管理を実施するが、この目標値を管理目標値という。目標値はでき上がりの品質が許容差の中に入るように設定されるものであるから、施工品質の平均とばらつき（偏差）の状態や、許容値の方向性（±側に許容されるか、+側又は-側のみにしか許容されないか）などを考慮して決めるべき性質のものである。

こうした考えから、このような意味合いの目標値を標準的に定めるのは難しいため、第2章管理表の管理目標値は、「共仕」に規定された許容値のみを示している。

第 2 章 管理表

1 一般共通事項

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | 管 理 方 法 | 管 理 目 標 値 | 提 出 資 料 | | |
|------|-----------------------|----------------|---|--------------------------------|---|---|---------------|-----|-----|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | | | 資 料 | 写 真 | |
| | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 |
| 一般事項 | 契約図書 | 工事請負 契約書 | 契約に基づく契約関係書類の 提出時期 | - | 写しを現場常備とし、内容を確認し、契約時、施工中及び完成時の提出書類を監督員の指示する様式集等により確認 | 工程表 現場代理人等通知書 その他 | | | |
| | | 設計図書 | 現場説明に対する質問回答書 現場説明書 謄本図面(特記仕様書、図面) 共通仕様書 (疑義、現場の納まり) | 第1編 1.1.1 1.1.6 1.1.8 | 現場に常備し、工事区分を確認 食い違い、不明部分は監督員と 協議し、結論を得ておく。 | 工事区分一覧表 (関連工事取合い部等の 工事区分) 打合せ議事録 | | | |
| | | 火災保険 | 保険の種類、加入期間 | - | 種別、期間、金額の確認 | 保険証書(写) | | | |
| | | 建設業退職 金共済組合 | 該当者の有無 下請負人等への確認 | - | 購入枚数・使用の確認 不要の場合、その理由書を提出 | 掛金収納書(写)又は 不提出理由書 | | | |
| | 官公署 その他への 届出手続等 | 提出書類 | 書式、提出先、提出時期、 検査時期 | 第1編 1.1.3 1.1.5 | 関連する法令等に従って速やか に手続を行う。 | 提出書類(写) 許可書等の原本又は 写し | | | |
| | 工事实績 情報の登録 | 登録の手続 | 特記確認 (登録の有無) (受注時)契約締結後10日以内 (変更時)変更契約締結後10日以内 (完了時)工事成後10日以内 | 第1編 1.1.4 | 定められた期間内に、工事实績 情報の登録手続を行う。 登録内容についてあらかじめ 報告し、登録されることを証明す る資料を監督員に提出 | 受領書(写) (受注時) " (変更時) " (完了時) | | | |
| | 工事の一時 中止に係る 事項 | | 状況調査、報告 | 第1編 1.1.9 | 現場の状況を直ちに監督員へ報告 | 状況調査及び理由書 | 現場状況 | 適 宜 | |
| | 工期の変更 に係る資料 の提出 | | 関係資料の提出時期 | 第1編 1.1.10 | 工期変更に必要な書類を監督員 に提出 | 変更工程表 変更理由書 工期算出根拠 | 変更理由の 状況写真 | 適 宜 | |
| | 特許権等 | | 協議 | 第1編 1.1.11 | 出願する場合、あらかじめ発注 者と協議 | | | | |
| | 文化財その 他の埋蔵物 | | 状況調査、報告 | 第1編 1.1.12 | 状況を直ちに監督員へ報告し、 指示を受ける。 | 状況調査報告書 | 現場状況 | 適 宜 | |

1 一般共通事項

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | 管 理 方 法 | 管 理 目 標 値 | 提 出 資 料 | | |
|------------|-----------|-----------------|---|-------------------------|---|-----------|---|--------------|-----|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | | | 資 料 | 写 真 | |
| | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 |
| 一般事項 | 発生材の処理等 | 引渡しを要するもの | 特記確認(種別,数量,整理方法,集積場所,特別管理産業廃棄物(PCB)) | 第1編 1.1.13 1.1.15 | 集積場所に整理し,調書を監督員に提出 | | 撤去品調書 再生資源利用「促進」計画書(実施書) | 集積状況 | 適 宜 |
| | | 再生資源の利用を図るもの | 特記確認(種別,数量,搬出場所,処理方法) | | 所定の再資源化施設に搬入し,調書を監督員に提出 | | 発生材調書 処理報告書 (マニフェスト票(写)) 再生資源利用「促進」計画書(実施書) | 搬出状況 搬出施設 | |
| | | その他のもの | 処理方法,搬出場所 発生材の再利用,再生資源化及び再生資源の積極的活用 | | 関係法令等を確認の上適切に処理し,監督員に報告 | | 処理報告書 (マニフェスト票(写)) 再生資源利用「促進」計画書(実施書) | 搬出状況 搬出施設 | |
| 工事関係 図書 | 実施工程表 | 実施工程表 | 主要イベント・各イベントの関わり調整 特記確認(概成工期を実施工程表に明記) | 第1編 1.1.7 1.2.1 | 工事の着手に先立ち作成 承 関連工事との調整,天候,製作期間等を考慮 承 変更する必要がある場合,当該部分の施工に先立ち,遅滞なく変更 | | 実施工程表 | | |
| | | 実施工程表の補足としての工程表 | | | 監督員の指示があった場合,補足として,週間又は月間工程表,工種別工程表等を作成し,監督員に提出 | | 週間工程表 月間工程表 工種別工程表 (監督員の指示による。) | | |
| | 施工計画書 | 総合施工計画書 | 設計図書及び関係法令等との整合 工事概要,施工体系,工程,総合仮設計画,施工上の問題点,主要工事の施工方針,管理・自主検査計画,安全衛生管理,環境保全対策等 | 第1編 1.1.15 1.2.2 | 工種別の施工計画書作成の拠り所となるよう,工事の総合的な計画について記載し,監督員に提出 | | 総合施工計画書 | | |
| | 工種別の施工計画書 | (詳細は各節参照) | 承 各節を参照し作成,監督員に提出 品質計画に係る部分 | | 工種別の施工計画書 (詳細は各節参照) | | | | |
| | 施工図等 | | (詳細は各節参照) | 第1編 1.1.7 1.2.3 | 承 (詳細は各節参照) 作成に際し,別契約の施工上密接に関連する工事との収まり等について十分検討 | | 施工図 製作図等 | | |

1 一般共通事項

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | 管 理 方 法 | 管 理 目 標 値 | 提 出 資 料 | | |
|------------|---------|---------------------|--|--|--|--------------------|--|----------------------------------|-----|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | | | 資 料 | 写 真 | |
| | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 |
| 工事関係 図書 | 工事の記録 | 工事打合せ書 | 指示, 協議事項 | 第1編 1.2.4 | 監督員の指示事項, 協議事項等を記録 | | 打合せ議事録 | | |
| | | 工事実施状況報告書 | 進ちょく度 | | 毎月又は毎週作成して実施工程との比較, 検討 | | 工事実施状況報告書 | | |
| | | 試験, 施工 | 試験・施工が適切であることの証明 | | (詳細は各節参照) | | (詳細は各節参照) | | |
| | | 工事写真 | 施工が適切であることの証明 (「工事写真の撮り方建築設備編」参照) | | (詳細は各節参照) | | (詳細は各節参照) | (詳細は各節参照) | |
| 工事現場 管理 | 施工管理 | 施工管理体制 | 現場代理人, 主任技術者又は監理技術者などによる管理体制 | 第1編 1.1.5 1.3.1 | 建設業法に基づいた資格の確認 施工体制台帳を作成し, 監督員に提出 施工体系図の現場掲示 | | 現場組織表 資格証明書(写) 施工体制報告書 | | |
| | | 電気保安技術者 | 特記確認(適用の有無) 資格又は知識及び経験 | | 第1編 1.3.2 | | 承 資格の確認(当該工事における電気工作物の工事を行うに当たり必要な電気主任技術者) 電気主任技術者以外の場合 | 資格又は知識及び経験を証明する資料 (資格証明書(写)等) | |
| | 工事の下請負 | 資格 | | 施工能力を有するか否かの確認 | | 下請負人及び主任技術者等通知書 | | | |
| | 施工時間等 | 施工時間 | 施工日, 時間の遵守 | 第1編 1.3.3 | 承 施工日, 施工時間を適切に決定する。 実施工程表に反映させる。 施工時間指定で変更をする場合 | 変更理由書 休日・夜間作業通知 | | | |
| | | その他 | 特記確認(施工条件) | | 施工時間以外の施工条件を確認 | | | | |
| 品質管理 | | (詳細は各節参照) | 第1編 1.2.2 1.3.4 1.4.3 1.4.4 1.5.2 ~ 1.5.4 | 検 (詳細は各節参照) 品質計画に基づき, 指導, 確認, 試験等を行う。 必要に応じて受ける。 監督員と協議 | 試験計画書 試験成績書 (詳細は各節参照) | | | | |
| | | 試験又は検査の結果, 疑義が生じた場合 | | | | | | | |

1 一般共通事項

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | 管 理 方 法 | 管 理 目 標 値 | 提 出 資 料 | | | |
|------------|----------------------------|---------------------------|--------------------------|---------------------------------|--|-----------|-----------------------------------|-------------------------|------|------|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | | | 資 料 | 写 真 | | |
| | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 | |
| 工事現場 管理 | 施工中の 安全確保 及び 環境保全 | 安全衛生 管理体制 | 安全衛生組織，緊急時の連絡体制，警備体制 | 第1編 1.3.5 | 現場の状況に合わせた体制の確立 | | (現場に掲示)緊急時 連絡体制，安全衛生組 織表 | | | |
| | | 安全衛生 管理 | 危険箇所，危険作業，公衆 災害 | 第1編 1.1.15 1.2.2 1.3.7 | 関係法令等の確認 安全対策の確認 公衆災害発生防止策の立案 | | 総合施工計画書 工種別の施工計画書 (詳細は各節参照) | | | |
| | | 環境保全 | 状況調査 | 第1編 1.1.15 1.2.2 1.3.5 | 関係法令等を確認し，環境保全 対策を立案 | | 総合施工計画書 | | | |
| | | 近隣等との 折衝 | 状況調査，誠意ある対応 | 第1編 1.3.5 | 監督員に，事前に概要を報告 また，経過について記録し，遅 滞なく報告 | | 状況報告書 | 状況写真 | 適 宜 | |
| | | 作業環境 | 美化 | 第1編 1.2.2 1.3.7 | 計画の立案 作業環境の美化 | | 総合施工計画書 | | | |
| | 災害時の 安全確保 | | 人命の安全確保，二次災害の防 止，状況調査 | 第1編 1.3.6 | 安全を確保し，監督員に経緯を 報告 | | 事故報告書 処理報告書 | 状況写真 | 適 宜 | |
| 機器及び 材料 | 機材 及び材料の 品質等 | 品質及び性能の証明 規格品の証明 | 調査を要する材料 | 第1編 1.4.1 | 設計図書に定める品質及び性能 を有することを確認し，証明書を 提出 規格品は，規格証明書で確認 | | 品質証明書 性能証明書 | | | |
| | | 調査を要する材料 | | | | | 調査に先立ち，調査表等を監督 員に提出 | | | 調査表等 |
| | | 機材の色等 | | | | | 監督員の指示を受ける。 | | | 見本 |
| | | 設計図書に定められた規格等 が改正された場合 | 第1編 1.1.8 | 監督員と協議 | | | | | | |
| | 機材の搬入 | 搬入報告(品質・性能) | 第1編 1.4.2 | 設計図書との整合を確認し，機 材の搬入ごとに監督員へ報告 | | | | 品質証明書 性能証明書 規格証明書 | 搬入写真 | 適 宜 |
| 搬入報告(数量) | 材料搬入報告書 | | | | | | | | | |

1 一般共通事項

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | 管 理 方 法 | 管 理 目 標 値 | 提 出 資 料 | | | |
|------------|---------------|-----------------------|-----------------------|--|---|-----------------|---------|-------|------|----------------|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | | | 資 料 | 写 真 | | |
| | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 | |
| 機器及び 材料 | 機材の検査等 | | 品質，性能，数量 | 第1編 1.2.4 1.4.4 | (詳細は各節参照) 検 種別ごとに原則として受ける。 検 合格した機材と同じ種別の機材は，以後，原則として抽出 | | | | | |
| | | | | | | | | | | 機材の検査 に伴う試験 |
| | 試験の実施 | 第1編 1.2.4 1.4.4 | 承 試験結果を確認し，提出 | | 試験成績書 | 状況写真 | 適 宜 | | | |
| | 機材の保管 | | 保管の方法 | 第1編 1.4.5 | 保管の方法・場所の確認 | | | | 状況写真 | 適 宜 |
| 施 工 | 施 工 | | 施工内容の確認 | 第1編 1.1.7 1.2.1 ~ 1.2.4 1.5.1 | 設計図書，施工計画書，実施工 程表，施工図等に従い施工 関連工事の工程調整 | | | 施工報告書 | 状況写真 | 適 宜 |
| | | | | | | | | | | |
| | 確認及び 報告の実施 | 実施時期 施工が設計図書に適合 | 第1編 1.2.4 1.5.2 | 所定の実施時期に施工を確認し， 適時監督員に報告 | | 施工報告書 (計測記録) | 状況写真 | 適 宜 | | |

1 一般共通事項

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | 管 理 方 法 | 管 理 目 標 値 | 提 出 資 料 | | |
|-----|-----------------|------------|--|--------------------------------|---|--------------------------|---------|-----|-----|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | | | 資 料 | 写 真 | |
| | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 |
| 施 工 | 施工の検査等 | 監督員の 検査 | 設計図書に定められた場合 一工程の施工を報告した場合 監督員により指示された工程 に達した場合 | 1.5.3 1.5.4 | (詳細は各節参照) 検 左記の場合に受ける。 検 合格した工程と同じ材料及び 工法により施工した部分は、以後 原則として抽出 | | 状況写真 | 適 宜 | |
| | | 見本施工 | 特記確認 (実施の有無) 仕上り程度等 (詳細は各節参照) | 第1編 1.5.3 | 承 見本施工を行い、仕上り程度等 を確認 (詳細は各節参照) | 施工報告書 | 状況写真 | 適 宜 | |
| | 施工の検査 等に伴う試験 | | 試験計画書 試験場所 | 第1編 1.4.4 1.5.4 | 試験方法について、設計図書を 確認。試験に先立ち試験計画書を 作成し、監督員に提出 承 (設計図書に定めがない場合の 試験方法) 承 試験場所を決定 | 試験計画書 | | | |
| | | | 試験の実施 | 第1編 1.2.4 1.4.4 1.5.4 | 立 原則とする。 承 試験結果を確認し、提出 | 試験成績書 | 状況写真 | 適 宜 | |
| | 施工の立会 い等 | | 設計図書に定められた場合 監督員の指示を受けた場合 | 第1編 1.5.5 | 立 左記の場合に受ける。 適切な時期に立会いを請求し、 立会い日時について指示を受ける。 立会いに必要な資機材及び労 務等を提供 | 立会い請求 | | | |
| | 工法の提案 | | 所要の品質及び性能の確保が 可能な工法 環境の保全に有効な工法 | 第1編 1.5.6 | 左記の提案がある場合、監督員 と協議 | 工法提案資料 品質証明書 性能証明書 | | | |

1 一般共通事項

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | 管 理 方 法 | 管 理 目 標 値 | 提 出 資 料 | | |
|--------------------|--------------|--------------|---|--------------|---|-----------|--|--|-----|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | | | 資 料 | 写 真 | |
| | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 |
| 工事検査 及び 技術検査 | 工事検査 | | 完成時期 部分払請求時期 指定部分完成時期 特記された場合 発注者が特に必要と認めた場合 | 第1編 1.6.1 | 設計図書の全ての工事の完了， 監督員の指示事項の完了，工事関 係図書・記録の整備完了を確認し 監督員に通知 検査に必要な資機材及び労務等 を提供 | | 既済部分確認請求書 完成届 完済届 | | |
| | 技術検査 | | | 第1編 1.6.2 | | | | | |
| 完成図等 | 完成時の 提出図書 | 完成図 | 種類及び記入内容 特記確認 (様式等(作成方法，原図のサ イズ)，CADデータの提出の 有無) | 第1編 1.7.1 | 所定の要件を確認し，作成 | | 完成図 (CD-ROM(3部)) CADデータ 施工図 (特記確認) | | |
| | | 保全に關す る資料 | 記載内容(右記提出書類) 特記確認(提出部数) | | | | 所定の要件を確認し，作成 提出時に，監督員に内容を説明 | 建築物の保守に関する 説明書 機器取扱い説明書 機器性能試験成績書 官公署届出書類 主要な材料・機器一覧表 予備品等引渡し通知書 | |

2 電力設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | | |
|-----|---------|--------------------|---------------------|-----------------------|---------|---|---------------------------|-----------|-----------|-----|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | | | 標準図 該当項 | 資 料 | 写 真 | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 |
| 機 材 | 電 線 類 | EM-IE電線 | 規格 外観・表示・JIS・JCS | 第2編 1.1.1 1.1.3 | | 検 損傷の有無等を確認し、各種・ 各サイズごとに表示及びマーク を目視確認する | 材料搬入報告書 見本品 (必要に応じ) | 表示 マーク | 1枚/ 種別 | |
| | | 耐熱ビニル電線 | JISマーク (表示品目に限る) | | | | | | | |
| | | EM-IC電線 | | | | | | | | |
| | | EM-EEケーブル | | | | | | | | |
| | | EM-CEケーブル | | | | | | | | |
| | | EM高圧架橋 ホリフレケーブル | | | | | | | | |
| | | EM制御ケーブル | | | | | | | | |
| | | 耐火ケーブル | JCMA表示マーク | | | | | | | |
| | | 耐熱ケーブル | | | | | | | | |
| | | EMユニットケーブル | | | | | | | | |
| | | EM構内ケーブル | 規格 外観 | 第6編 1.1.1 | | | | | | |
| | | EMホーン電話 ケーブル | 表示 JCS JIS | | | | | | | |
| | | CCPケーブル | | | | | | | | |
| | | CPEVケーブル | | | | | | | | |
| | | EM-CPEEケーブル | | | | | | | | |
| | | マイクロホーンコード | | | | | | | | |
| | | EM警報用 ケーブル | | | | | | | | |
| | | EM同軸ケーブル | | | | | | | | |

2 電力設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | | |
|------------------------------------|--|------------------------------------|---|------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|-------|-----------------------------|-----------|-----------|----------------|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | 標準図 該当項 | | | 資 料 | 写 真 | | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 | |
| 機 材 | 電 線 類 | BS・CS用同軸ケーブル | 規格 外観 表示 | 第6編 1.1.1 | | 検 損傷の有無等を確認し、各種・各サイズごとに表示及びマークを目視確認する | | 材料搬入報告書 見本品 (必要に応じ) | 表示 マーク | 1枚/ 種別 | |
| | | UTPケーブル | JCS JIS | | | | | | | | |
| | | 光ファイバケーブル | | | | | | | | | |
| | | 圧縮端子 圧着端子 圧着スリーブ | 規格 外観 表示 JIS JISマーク (表示品目に限る。) | 第2編 1.1.2 | | | | 検 各種・各サイズごとに表示及びマークを目視確認する。 | | | 見本品 (必要に応じ) |
| | | 電線コネクタ | | | | | | | | | |
| | | PEスリーブ F形接栓 絶縁性コネクタ | 規格 外観 表示 JIS | 第6編 2.1.1 | | | | | | | |
| | | 通信用プラグ ユニット 光コネクタ BNCコネクタ | 規格 外観 表示 JIS | 第6編 1.3節 | | | | | | | |
| | | ビニールテープ | 規格・表示 JISマーク | 第2編 1.1.1 | | | | | | | |
| | 低圧ケーブル 端末処理材 低圧ケーブル 相互接続材 | 性能 表示 | 第2編 2.1.1 | | | カタログ | | | | | |
| 高圧ケーブル 端末処理材 高圧ケーブル 相互接続材 | 性能 表示 処理方法 接続方法 | 第2編 2.1.1 | | 検 全数目視確認する。 | カタログ 性能証明書 (試験成績書) | | | | | | |
| ハスタ外及び 付属品 | 規格・容量・表示 JIS 関係法令に適合 (防火ハスタ外に限る。) | 第2編 1.1.4 | | 承 損傷の有無等を確認し全数表示を確認する。 | 製作図 試験成績書 材料搬入報告書 関係法令適合の資料 | | | | | | |

2 電力設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | |
|-----|--|--|--------------------------------|-------------------|-------------------|--|---------------|----------------------------|-------------------|-----------|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | 標準図 該当項 | | | 資 料 | 写 真 | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 |
| 機 材 | 電 線 類 | ライティング ダクト 及び付属品 | 規格 容量 JIS | 第2編 1.1.5 | | 検 損傷の有無等を確認し各種ご とに表示を目視確認する。 | | 材料搬入報告書 カタログ (必要に応じ) | | |
| | 電線保護物類 | 電線管 及び付属品 | 規格 外観 表示 | 第2編 1.2.1 ~ | | 検 損傷の有無等を確認し、各種・ 各サイズごとに表示及びマーク を目視確認する。 | | 材料搬入報告書 見本品 (必要に応じ) | 表示 マーク 保管状況 | 1枚/ 種別 |
| | | 金属管 | サイズ JIS | 1.2.4 第6編 | | | | | | |
| | | PF管 | JISマーク (表示品目に限る。) | 1.2.1 | | | | | | |
| | | 硬質ビニル管 | | | | | | | | |
| | 金属製可とう電線管 | | | | | | | | | |
| | 金属線び 及び付属品 | 規格 外観 サイズ 経済産業省令 | 第2編 1.2.5 第6編 1.2.1 | | | | | | | |
| | 鋼 管 ホリソ 被覆鋼管 波付硬質合 成樹脂管 P E G | 規格 外観 表示 JIS サイズ JISマ-ク (表示品目に限る。) | 第2編 1.15.4 第6編 1.21.3 | | | | | | | |
| | 防食テープ | 規格 JISマーク | 第2編 1.15.4 第6編 1.21.3 | | 検 各種ごとに表示を目視確認する。 | | 見本 (必要に応じ) | | | |

2 電力設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | | |
|-----|------------|-------------------------------|--|---------------------------------------|-------------------|-----------------------------------|-------------------------|-------------------------|---------------|-----------|--|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | 標準図 該当項 | | | 資 料 | 写 真 | | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 | |
| 機 材 | 電線保護 物類 | 防水鑄鉄管 防水装置 | 外觀 寸法 | 第2編 2.1.12 第6編 2.1.11 | 電力 191～ 193 | 検 全数目視確認する。 | | 材料搬入報告書 | | | |
| | | ボックス | 形式 構造 寸法・材質 電線支持金物の取付及び補強 状態 | 第2編 1.2.6 1.2.7 第6編 1.2.2 | 電力 141～ 144 | 承 損傷の有無等を確認し、各種・ 検各サイズごとに確認する。 | | 製作図 材料搬入報告書 | 寸法・ 材質等 | 1枚/ 種別 | |
| | | 金属ダケ | 接地端子 塗装 仕上げ状態 屋外形 | | | | | | | | |
| | | ケーブル ラック | 形式 構造 寸法 仕上げ | 第2編 1.2.8 第6編 1.2.2 | 電 力 145 146 | 承 各種・各サイズごとに目視確認 検する。 | | 製作図 試験成績書 材料搬入報告書 | | | |
| | | ワイヤ プロテクタ | 形式 サイズ | | | | 検 各種・各サイズごとに目視確認 する。 | | 見本 (必要に応じ) | | |
| | | インサート及び 吊りボルト アンカーボルト | | | | | | | | | |
| | | ボンド用 クランプ | | | | | | | | | |
| | | 耐火仕切板 耐火充てん 材 耐熱シール材 | 規格 外觀 表示 (関係法令に適合又は性能評定) | 第2編 1.2.9 第6編 1.2.3 | | 検 関係法令適合を確認する。 | | 耐火性を有する証明 | 表示 | 1枚/ 種別 | |

2 電力設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | |
|-----|--------------|------|--|---|------------|--|-------|-----------------------|---|----------------------|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | 標準図 該当項 | | | 資 料 | 写 真 | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 |
| 施 工 | 電線管等の 布 設 | スリーブ | 位置・本数・サイズ 固定・補強 防水処理 | 第1編 2.8.1 | 電力 193 | 検 コンクリート打設前目視 確認 | | 施工計画書 施工図 施工報告書 | 施工状況 (コンクリート打設前) | 1枚 (1箇所) |
| | | 管の布設 | 経路・条数・サイズ 曲げ箇所数・角度 管相互・型枠との間隔 支持間隔 鉄筋との結束 1区間の屈曲箇所4箇所以下 1区間の曲げ角度の合計270度 以下 管の曲げ半径管内径の6倍以上 管の曲げ角度 90度以下 管の支持間隔 2m以下(金属管) 1.5m以下(合成樹脂管) 1.0m以下(露出PF管・可とう 管)管を鉄筋に結束(PF管等) 1.0m以下 | 第2編 2.2.2~ 2.2.4 2.3.2~ 2.3.4 2.4.2~ 2.4.4 2.5.2 2.5.3 第6編 2.2.1~ 2.2.3 2.3.1~ 2.3.3 2.4.1 2.4.2 | | 検 立 コンクリート打設前目視 確認 壁仕上げ材取付工事前目 視確認 二重天井仕上げ材取付工 事前目視確認 | | 施工計画書 施工図 施工報告書 | 配管の支持配管 の養生管と ボックスの接続及び ホソディングの状況 全体の布設状況 (隠ぺい部) | 適宜 (全体及び 部分的に) |
| | | 管の離隔 | 立上げ部の養生 一般事項 D:梁せい (mm) 「躯体埋設配管 PF」 平行配管(1m以上)の相互の 離隔30mm平行配管の梁との離隔 100mm 梁横断時(D)柱との離隔1.2D | 第2編 2.2.7 2.3.7 2.4.7 2.5.5 第6編 2.2.6 2.3.6 2.4.3 | | 検 立 コンクリート打設前目視確認 壁仕上げ材取付工事前目 視確認 二重天井仕上げ材取付工 事前目視確認 | | | | |

2 電力設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | | |
|----|-------------|--|--|---|---------|-----------------------|---|------------------|-----|-----|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | | | 標準図 該当項 | 資 料 | 写 真 | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 |
| 施工 | 電線管等の 布設 | 管の接続 | 管相互・異種管との接続・締付 管端部の処理 ねじ切り部の防せい塗装 ボンディング | 第2編 2.2.6 2.2.7 2.3.6 2.4.6 | | 施工計画書 施工図 施工報告書 | 配管の支持配管 の養生 管とボックスの接続 及びボンディングの 状況 全体の布設状況 (隠ぺい部) | 適宜(全体及 び部分的に) | | |
| | | | 伸縮カップリングの使用 (硬質ビニル管) 直線部10m以上 | 2.5.3 第6編 2.2.5 2.2.6 2.3.5 2.4.2 | | | | | | |
| | | 位置ボッ クス等 | 種別・サイズ 支持・固定 仕上げレベル 管との接続及びボンディング 塗代カバー 継棒の要否内面塗装 (コンクリート埋込ボックス) 表示 セパレーター 塗代カバーと仕上げ部分との間隙 10mm以下 (ボート張りは除く) プルボックスの支持 箇所数の確認 (ボルト径9mm以上) | 第2編 2.2.5 2.3.5 2.4.5 2.5.5 第6編 2.2.4 2.3.4 2.4.3 | | | | | | |
| | ボンディ ング | ボンド線の太さ 取付状態 金属製保護物相互間及び ボックス間のボンディング | 第2編 2.2.6 2.5.3 | | | | | | | |

2 電力設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | |
|-----|--------------|-----------------|---------------------------------|--------------------------------|--------------------|-------------|-------|--------------------|------|-------------|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | 標準図 該当項 | | | 資 料 | 写 真 | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 |
| 施 工 | 電線管等の 布 設 | 防火区画貫通 | 防火区画貫通部の処理 | 第2編 2.1.10 第6編 2.1.10 | | 立 全数目視確認する。 | | 関係法令適合の資料 施工計画書 | 処置状況 | 1枚/ 工程ごと |
| | | 塗装 | 露出部分の塗装(図面特記) 下地処理剤の確認(下地処理) | 第1編 2.7.1 | | | | 施工計画書 施工図 | | |
| | | 防水処置 | 建物外引き出し部の防水処置 | 第2編 2.1.12 第6編 2.1.11 | 電力 190~ 193 | 立 全数目視確認する。 | | 施工計画書 施工図 | 処置状況 | 1枚/ 工程ごと |
| | | エキスパンション 耐 震 | エキスパンション部の配線 耐震処置 耐震支持 | 第2編 2.1.14 第6編 2.1.13 | 電 力 153~ 157 | | | | | |

2 電力設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | |
|-----|----------------|--|---|--|------------------------------------|---|----------------|--|-------------------------|------|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | 標準図 該当項 | | | 資 料 | 写 真 | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 |
| 機 材 | 配線器具類 | コンセント・プラグ スイッチ・プレート リコンスイッチ 自動点滅器 二重床用配線 器具 | 規格 容量 規格証明書又JISマーク(表示品目) 製造年 | 第2編 1.3節 | | 承 種別ごとに任意に抜取り目視確 検認する。 不良の場合は、全数確認する。 | | 製作図 (必要に応じ) 見本品 (必要に応じ) カタログ (必要に応じ) 材料搬入報告書 | 表示マーク | 適宜 |
| | 照明器具類 | 蛍光灯器具 白熱灯器具 HID灯器具 | 形式・構造(送り端子等)・部品 光源・表示 安定器(保護機能付)の種別 定格・点灯方式 製造年 | 第2編 1.4節 | 電力 1～57 93～97 101～ 115 | 承 種別ごとに任意に抜取り目視確 検認する。 不良の場合は、全数確認する。 | | 製作図 試験成績書 材料搬入報告書 | 機材状況 | 適宜 |
| | 防 災 用 照明器具類 | 非常用照明 器具 | 形式 構造・部品・光源 表示 関係法令に適合又は認証マーク 製造年 | 第2編 1.5節 | 電力 59～85 98～ 100 | 承 種別ごとに任意に抜取り目視確 検認する。 不良の場合は、全数確認する。 | | 製作図 試験成績書 (必要に応じ) 材料搬入報告書 | 機材状況 | 適宜 |
| | | 誘 導 灯 | 形式 構造・部品・光源 表示 関係法令に適合又は認定証票 製造年 | 第2編 1.5節 | 電力 86～92 | 承 種別ごとに任意に抜取り目視確 検認する。 不良の場合は、全数確認する。 | | 製作図 試験成績書 (必要に応じ) 材料搬入報告書 | 機材状況 | 適宜 |
| | | 分電盤類 | 分 電 盤 耐熱形分電盤 O A 盤 実 験 盤 開閉器箱 | 構造・寸法(ガタ寸法,充電部と の離隔寸法,セパレータの取付,ドアの 開閉具合,接地端子の取付,非常用 照明盤,鍵,図面札等) 導電部(導体の配置,色別,接近 状態,並列接続) 器具類の種別 定格 数量 関係法令に適合したもの 表示 予備品・外観 実験盤のケーブル接続上の注意事項 | 第2編 1.6節～ 1.10節 | 電力 126～ 129 電力 175 | 承 全数確認する。 検 | | 製作図 試験成績書 材料搬入報告書 | 機材状況 |

2 電力設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | 標準図 該当項 | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | |
|-----|---------|-----------------------|---|----------------------|-------------------|-------------------|-------|-------------------------------------|------|-----------|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | | | | 資 料 | 写 真 | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 |
| 機 材 | 制御盤類 | 制 御 盤 消防防災用 制御盤 | 構造 寸法(ｶﾞﾀ寸法,充電部との離隔寸 法,ｷﾊﾟﾚﾀの取付,ﾄﾞｱの開閉具合,接 地端子の取付,鍵,図面ｷﾀﾞ) 導電部(導体の配置,色別,接近状 態,並列接続) 器具類の種別 定格 数量 始動装置の種別 定格と負荷機器 表示 予備品 外観 ﾄﾞｱ裏面感電防止処置 盤内放熱処置 関係法令に適合したもの又は認定 証票(消防防災用制御盤) | 第2編 1.11節 ~12節 | 電力 130~ 138 | 検 承 全数確認する。 | | 製 作 図 試 験 成 績 書 材 料 搬 入 報 告 書 | 機材状況 | 1枚/ 箇所 |
| | 端子盤類 | 端子盤・集 合保安器箱 | 形式・構造・寸法(ｶﾞﾀ寸法,ｷﾊﾟ ﾀの取付,ﾄﾞｱの開閉具合) 端子板 ﾊｯｼﾊﾟﾙ 通信用保安器の種別 数量 接地 表示 予備品 外観 | 第6編 1.4節 | 通信 1~6 | 検 承 全数確認する。 | | 製 作 図 試 験 成 績 書 材 料 搬 入 報 告 書 | 機材状況 | 1枚/ 箇所 |
| | 電熱装置類 | 電熱装置 | 形式 構造 寸法 制御盤 発熱線 温度センサ 製造年月 | 第2編 1.13節 | 電力 139 | 検 承 全数確認する。 | | 製 作 図 試 験 成 績 書 材 料 搬 入 報 告 書 | 機材状況 | 1枚/ 箇所 |

2 電力設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | |
|-----|----------------|---|--|--|--------------------------------|---|-------|------------------------------|------|-----|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | 標準図 該当項 | | | 資 料 | 写 真 | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 |
| 施 工 | 金属ダクト の 布 設 | 位置・経路 納 ま り | 布設経路 点検のしやすさ 終端部の処理 貫通部の処理 ダクト相互・ボックス盤等との接続 ボンディング 支持方法 支持間隔 (3m以下) 支持ボルトサイズは、 ダクトの幅600mm以下9mm以下 ダクトの幅600mmを超える12mm以下 | 第2編 2.7節 第6編 2.5節 | 電力 144 | 検 承 任意に抜取り目視確認する。 不良の場合は、全数確認する。 任意に抜取り目視確認する。 不良の場合は、全数確認する。 任意に抜取り目視確認する。 不良の場合は、全数確認する。 | | 施工計画書 施工図 製作図 施工報告書 | 布設状況 | 適宜 |
| | | そ の 他 | 防火区画貫通部の処理 関係法令に適合又は性能評定 耐震措置 周長800mmを超えるダクトは、支持 間隔8m以下ごと | 第2編 2.1.10 2.1.11 第2編 2.1.14 | 電力 147～ 148 電力 153 | | | | | |
| | 金属線び 配線の布設 | 納 ま り | 1種金属線び ベース間隔1m以下 | 第2編 2.8節 | | 検 任意に抜取り目視確認する。 不良の場合は、全数確認する。 | | 施工計画書 施工図 施工報告書 | 布設状況 | 適宜 |
| | 接 続 | 2種金属線び 支持間隔1.5m以下 振れ止め 1種金属線び線び相互接続の ボンディング 2種金属線び線び・ボックス 金属管とのボンディング | 第2編 表2.9. 1 | | | | | | | |

2 電力設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | |
|----------------|-----------------------------------|---|---|-------------------------------|-------------------------------|--|-----------------------|------------------------------|------|----------------|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | 標準図 該当項 | | | 資 料 | 写 真 | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 |
| 施 工 | ケーブルラックの布設 | 経路・位置 納まり | 布設経路・点検のしやすさ 段 数 電力・通信用の離隔 ガス・水管との離隔 貫通部の処理 | 第2編 2.10.2 第6編 2.7.2 | 電力 145 146 | 検 承 任意に抜取り目視確認する。 不良の場合は、全数確認する。 | | 施工計画書 施工図 製作図 施工報告書 | 布設状況 | 適宜 |
| | | 接 続 | ラック相互・ボックス・盤等との接続 ボンディング | | | | | | | |
| | | 支持・固定 | 支持方法・支持間隔(鋼製：水平2m以下,アルミ製では1.5m以下,垂直3m以下,EPS内6m以下) 支持ボルトサイズは, ラックの幅600mm以下 9mm以上 ラックの幅600mmを超える12mm以上 | | | | | | | |
| | そ の 他 | 防火区画貫通部の処理 関係法令に適合 耐震措置 幅400mmを超えるラックは、支持 間隔8m以下ごと Eキルソション部の処理 | 第2編 2.1.10 2.1.11 第2編 2.1.14 | 電力 148 電力 153 157 | 立 検 全数確認する。 全数確認する。 | | 施工計画書 施工図 施工報告書 | 施工状況 | 適宜 | |
| バスダクト の 布 設 | 経路・位置 納まり | 布設経路,点検のしやすさ 終端部の処理 プラグインバスダクト差込み口の処理 | 第2編 2.9節 | | | | | | | 検 承 全数確認する。 |
| 接 続 | 接続部の処理及び締付けトルク ボンディング | | | | | | | | | |
| 支持・固定 | 支持方法,支持間隔(3m以下,垂直(EPS内)6m以下)・防振構造 | | | | | | | | | |
| | そ の 他 | 防火区画貫通部の処理 関係法令に適合 耐震措置:定格電流600Aを超える ダクトは、支持間隔8m以下ごと Eキルソション部の処理 | 第2編 2.1.10 2.1.11 第2編 2.1.14 | 電力 153 | 立 検 全数確認する。 全数確認する。 | | 施工計画書 施工図 施工報告書 | 施工状況 | 適宜 | |

2 電力設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | | | | |
|----------------------|--|---|---|----------------------------|-----------------------------------|--|-------------------------------|----------------|-------------------------------|-----|---------------------------------|--|-------|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | 標準図 該当項 | | | 資 料 | 写 真 | | | | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 | | | |
| 施 工 | 電線の布設 (電力・通信) | 配 線 | 種類・条数・サイズ 回路種別 色別 | 第2編 2.1節 第6編 2.1節 | | 接続前,任意に抜取り目視確認する。 不良の場合は,全数確認する。 | | 施工計画書 施工図 | | 適宜 | | | |
| | | 接続 一般 | 接続工具の規格表示(JISマーク) | | | | | | | | 立 作業前,目視確認する。 検 | | 施工計画書 |
| | | | 端子と電線サイズ ケーブルの端末・成端処理 | | | | | | | | 任意に抜取り目視確認する。 不良の場合は,全数確認する。 | | |
| | | 接続部の 処理 | 絶縁電線相互 低圧ケーブル相互 耐熱ケーブル相互 耐火ケーブル相互 高圧ケーブル相互 高圧ケーブル端末処理 通信用ケーブル相互 通信用ケーブル端末処理 湿気の多い場所での処理 | | | 立 絶縁処理前,種別ごとに任意に 検抜取り目視確認する。 不良の場合は,全数確認する。 絶縁処理,種別ごとに任意に抜 取り目視確認する。 不良の場合は,全数確認する。 | | 施工計画書 施工報告書 | 絶縁処理 前 絶縁処理 作業過程 | | | | |
| 機器端末へ の接続 盤内整理 | 機器端子と電線サイズ 端子の締付け,増締め表示 (14mm ² 以上) 振動する機器端子との接続 通信用ケーブルの編出し 盤内支持・整線 | | | 立 全数確認する。 検 | | 施工計画書 管理記録 | 施工状況 | | | | | | |
| | 電線管内へ の布 線 | 管路内の清掃 ブ ル ックス内の電線支持・余長 垂直管路内の電線支持間隔は, 電線 38mm ² 以下 30m以下 電線 100mm ² 以下 25m以下 電線 150mm ² 以下 20m以下 電線 250mm ² 以下 15m以下 電線 250mm ² 超過 12m以下 幹線ブ ル ックス内電線の表示札付 (回路種別・行先等) 呼び線(電線管 1m以上) | 第2編 2.2~ 5節 第6編 2.2~ 4節 | | 検 任意に抜取り目視確認する。 不良の場合は,全数確認する。 | | 施工計画書 施工図 施工報告書 管理記録 | 施工状況 | 適宜 | | | | |

2 電力設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | |
|-----|------------------|-----------------|--|-----------------------------|----------------|-----------------------------------|--------------|-----------------------|------|-----|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | 標準図 該当項 | | | 資 料 | 写 真 | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 |
| 施 工 | 電線の布設 (電力・通信) | 金属ダケ内 の布線 | ダケ内電線支持 (垂直1.5m以下) 整線 余長 外部に引出す部分の電線保護 処置 ダケ内電線の表示札取付 (回路種別・行先等) | 第2編 2.7節 第6編 2.5節 | | 検 任意に抜取り目視確認する。 不良の場合は、全数確認する。 | | 施工計画書 施工図 施工報告書 | 布設状況 | 適宜 |
| | | | 防火区画貫通部のダケ内処理 | 第2編 2.1.10 2.1.11 | 電力 148 | 立 検 全数確認する。 | | 施工計画書 施工図 | 施工状況 | 適宜 |
| | | 金属線び内 の布線 | 電線接続点の点検方法 (2種金属線び) 整線 余長 外部に引出す部分の電線保護 処置 キャップの取付 | 第2編 2.8節 第6編 2.6節 | | 検 任意に抜取り目視確認する。 不良の場合は、全数確認する。 | | 施工計画書 施工図 施工報告書 | 布設状況 | 適宜 |
| | | ケーブル上 の布線 | ケーブル支持間隔 (水平部3m以下, 垂直部1.5m以下) 整線 セパレータ及び接地 (電力・通信共用) ケーブルに表示札又は表示シート取付 (回路種別・行先等) | 第2編 2.10節 第6編 2.7節 | | 検 任意に抜取り目視確認する。 不良の場合は、全数確認する。 | | 施工計画書 施工図 施工報告書 | 布設状況 | 適宜 |
| | | ケーブルの防火区画貫通部の処理 | 第2編 2.1.10 2.1.11 | 電力 148 | 立 検 全数確認する。 | | 施工計画書 施工図 | 施工状況 | 適宜 | |

2 電力設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | 管理方法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | | | |
|-----|------------------|----------------------------|---|-----------------------------|------|---|------------|-------------------------------|------|-----|--|
| | 項目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | | | 標準図 該当項 | 資 料 | 写 真 | | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 | |
| 施 工 | 電線の布設 (電力・通信) | ケーブルのふ線 (ころがしの 場合) | ケーブルは、器具、ダケ等と接触しないこと。 ケーブルに張力が加わらないこと。 位置ボックスの種類と有無 位置ボックス付近での支持位置 点検方法 | 第2編 2.10節 第6編 2.7節 | | 立 止 前、施工前、任意に抜取り目視確認する。 不良の場合は、全数確認する。 | | 施工計画書 施工図 施工報告書 | 布設状況 | 適宜 | |
| | | ケーブルのふ線 (二重床内の 場合) | ケーブルは、ころがし配線・整線 余長 電力用ケーブルと通信用ケーブルとの 離隔・セパレータ ケーブルの接続方法・接続場所 マーキング 接続部近傍に張力止め | 第2編 2.10 第6編 2.7節 | | 検 任意に抜取り目視確認する。 不良の場合は、全数確認する。 | | 施工計画書 施工図 施工報告書 管理記録 | 布設状況 | 適宜 | |
| | | ケーブルのふ線 (造営材に取 付の場合) | 支持方法・間隔(2m以下) (1mの場合) シールド線の接地 造営材貫通部の処理 屈曲半径 低圧：多心6倍以上、単心8倍以上。 遮へい付ケーブルは8倍以上(単心ケーブルにあつては10倍以上) 高圧：多心8倍以上、単心10倍以上 通信用ケーブルは6倍以上 (UTP: 4対以下は8倍以上4対を越えるもの10倍以上、 CPEV・S, FCPEV, CPEE・S, CCPポリフェニレンス:10倍以上、 CCPラミネートス:15倍以上) | | | | | | | | |
| | | ケーブルのふ線 (ちょう架す 場合) | 径間は、15m以下 支持間隔は、0.5m以下 | | | | | | | | |

2 電力設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | |
|----------------|-------------------------|--|---|---------------------------------|------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------|------|-----|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | 標準図 該当項 | | | 資 料 | 写 真 | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 |
| 施 工 | 電線の布設 (電力・通信) | 平形保護層 配線及び 通信用ワット ケーブル | 種別・太さ,固定方法 間隔(1.5m以下), 壁面等での使用(銅板製グ'外) 折返し部及び 上部接地用保護層機器や 電線との接続(専用コネク端子台) 通信との離隔0.1m | 第2編 2.11節 第6編 2.8節 | | 検 任意に抜取り目視確認する。 不良の場合は,全数確認する。 | | 施工計画書 施工図 施工報告書 管理記録 | 布設状況 | 適宜 |
| | | 光ファイバ ^o -ケ ブル | 曲げ半径 (許容曲げ半径以上)・張力 布設時の張力(10m/min)以下 接続方法(融着,コネク,接続箱) (接続損失測定) 防護処置 | 第6編 2.8節 | | | | | | |
| 機 器 の 取 付 け | 分 電 盤 O A 盤 実 験 盤 | 位置・高さ・固定 耐震措置 (自立形は頂部に振止め) 操作・保守スペース 非常照明用分電盤の配線用 遮断器の高さ(1.2m以下) 配線接続・整線 接地 単線接続図の備付け カート ^o 記入 盤内清掃 | 第2編 2.15節 | 電力 126~ 129 | 立 検 承 全数確認する。 | | 施工計画書 施工図 製作図 施工報告書 管理記録 | 施工状況 | 適宜 | |

2 電力設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | | |
|-----|----------------|---------------|---|--------------|-------------------|-------------|---------|---------|--------------------------------------|--------------|----|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | 標準図 該当項 | | | 資 料 | 写 真 | | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 | |
| 施 工 | 機 器 の 取 付 け | 照明器具 | 形式 位置 支持 (耐震措置) 支持ルサイズは、9mm以上支持 本数 安定器電圧 光源 器具の放熱処理 器具内配線処理 接地 防水処理 断熱施工器具の送り配線容量 | 第2編 2.15節 | 電力 119～ 125 | 立 検 承 | 全数確認する。 | | 施工計画書 施工図 製作図 施工報告書 | 施工状況 | 適宜 |
| | | 配線器具等 | コンセント 接地側(極)の位置 点滅区分 スイッチの向き | 第2編 2.15節 | | | 全数確認する。 | | 施工計画書 施工図 施工報告書 | 施工状況 | 適宜 |
| | | 制 御 盤 開閉器箱 | 位置・高さ・固定 耐震措置 (自立形は振止め) 操作 保守スペース 配線接続 整線 接地 単線接続図， 展開接続図の備付け， カード記入， 盤内清掃 | 第2編 2.16節 | | 立 検 承 | 全数確認する。 | | 施工計画書 施工図 製作図 施工報告書 管理記録 | 施工状況 | 適宜 |
| | | 電熱装置 | 発熱線のふ線 位置・深さ・ 重量・接続 導通， 絶縁抵抗測定 (施工中) | 第2編 2.17節 | 電力 140 | 立 検 承 | 全数確認する。 | | 施工計画書 施工図 製作図 施工報告書 管理記録 | 布設状況 測定状況 | 適宜 |

2 電力設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | |
|--------------|-----------------|-------------------|---|-------------------------------|--------------|-------------------------------------|-----------------------|-----------------------|------|-----|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | 標準図 該当項 | | | 資 料 | 写 真 | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 |
| 施 工 の 試 験 | 通信情報 配線 | UTケーブル 伝送品質 | 導通， 対の配置 長さ， 減衰量，近端漏話減衰量，ACR (クrosリクカの性能) | 第6編 2.30節 | | 承 全回線試験し確認する。 標準回線数を試験し確認する。 | | 施工計画書 施工図 試験成績書 | 測定状況 | 適宜 |
| | | 光ファイバ - 伝送損失 | システムの許容伝送損失値以下 | 第6編 2.30節 | | 承 全回路測定し確認する。 | | 施工計画書 施工図 試験成績書 | 測定状況 | 適宜 |
| | 接地抵抗 (電力・通信) | 接地極の 接地抵抗 値 | 設計図書の値以下 | 第2編 2.19.2 第6編 2.30節 | 電力 178 | 承 全箇所測定し確認する。 | | 施工計画書 施工図 試験成績書 | 測定状況 | 適宜 |
| | 非常用照明 装置 | 照度測定 | 床面の水平面照度 白熱灯 1lx以上 蛍光灯 2lx以上 | 第2編 2.19.2 | | 承 任意に抜取り測定確認する。 | | 施工計画書 施工図 試験成績書 | 測定状況 | 適宜 |
| | | 点灯試験 | 回路電圧測定(分電盤内) 切替え | | | | | | | |
| | 照明器具 | 点灯試験 | 点灯試験 非常用照明器具の点灯試験 誘導灯の点灯試験 | 第2編 2.19.2 | | 承 全数試験し確認する。 | | 施工計画書 施工図 試験成績書 | 試験状況 | 適宜 |
| コンセント | 極性試験 | 極性試験 回路 電圧 | 第2編 2.19.2 | | 承 全数試験し確認する。 | | 施工計画書 施工図 試験成績書 | 試験状況 | 適宜 | |

2 電力設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | |
|-----------|---------------------|--------------|-----------------------|--------------|------------|--------------|-------|-------------------------------|------|-----|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | 標準図 該当項 | | | 資 料 | 写 真 | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 |
| 施工の 試験 | 分電盤 O A 盤 実験盤 | 外觀構造 | 製作図 外觀 (傾き・対角差) | 第2編 2.19節 | | 承 全数試験し確認する。 | | 施工計画書 製作図 試験成績書 管理記録 | 試験状況 | 適宜 |
| | | シーケンス | 製作図 | | | | | | | |
| | 制御盤 | 外觀構造 | 製作図 外觀 (傾き・対角差) | 第2編 2.19節 | | 承 全数試験し確認する。 | | 施工計画書 製作図 試験成績書 管理記録 | 試験状況 | 適宜 |
| | | シーケンス | 製作図 | | | | | | | |
| | | 動作特性 | 動作特性 | | | | | | | |
| | 発熱線 | 導通試験 絶縁試験 | | 第2編 2.19節 | | 承 全数試験し確認する。 | | 施工計画書 製作図 試験成績書 管理記録 | 試験状況 | 適宜 |

2 電力設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | |
|---------------|-------------|----------------------------|---|---|-------------------------|----------------|--|--|-----------|-----|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | 標準図 該当項 | | | 資 料 | 写 真 | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 |
| 機 材 | 避雷設備 | 突針 突針支持管 | 形式・材質・寸法 JIS (突針支持管に限る) | 第2編 1.14.2 | 電力 168～ 169 | 承 検 全数確認する。 | 製作図 材料搬入報告書 | 機材状況 | 1枚 | |
| | | 棟上導体 導線・水切 端子 接地極 | 構造 材質 寸法 | 第2編 1.14.2 | 電力 170～ 172 | 検 各種ごとに確認する。 | 材料搬入報告書 | | | |
| | | 端子箱 | 形式・構造・寸法 端子数 端子の形状・取付状態 | | 電力 173～ 174 | 承 検 全数確認する。 | 製作図 材料搬入報告書 | | | |
| | 外線材料 | 電柱及び装柱材 | 電柱種別・寸法・設計荷重 コンクリート柱のJISマーク がいし種別・耐塩種別 電力仕様 (装柱材) 外観 | 第2編 1.15.1 ～ 3 第6編 1.21.1 1.22.2 | | 検 各種ごとに確認する。 | 材料搬入報告書 | 表示 マーク 寸法 全体 | 1枚/ 種別 | |
| | | 現場打マン ホール・ハン ドホール | 形式・外観・寸法 コンクリート強度(18N/mm ²) スランプ(18cm以下) 鉄筋種別・サイズ ケーブル支持材 | 第1編 2.4.1 第2編 1.15.5 | 電力 184～ 189 | 承 検 全数確認する。 | 材料搬入報告書 コンクリート調 合表 (少量は除く。) 鉄筋規格証明書 (少量は除く。) 製作図 | 鉄筋組立 (鉄筋の間 隔が把握で きるよう に)寸法 | 1枚/ 工程 | |
| | | ブロックマ ンホール・ハ ンドホール | 形式・外観・寸法・耐荷重 ケーブル支持材 用途表示 タラップ | | | | | 積層状況 寸法 | 1枚/ 種別 | |
| | | マンホー ル・ハンドホ ールの鉄蓋 | 形式 外観・寸法・表示 破壊荷重(2t,8t) | 第2編 1.15.5 | 電力 179～ 183 | 承 検 全数確認する。 | 製作図 試験成績書 材料搬入報告書 | | 適宜 | |
| 機器類 (開閉器等) | 形式 定格・性能 | 第3編 1.10.8 | 電力 194 | 承 検 全数確認する。 | 製作図 試験成績書 材料搬入報告書 | | 適宜 | | | |
| 埋設標・埋 設シート | 形式 表示 | 第2編 1.15.5 | | 検 各種目視確認する。 | | | 適宜 | | | |

2 電力設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | | | |
|-----------------------|---|--------------------------------------|---|--------------------------|-----------------------|--------------------------|-----------------------|--------------------------------|--------------------------|-----------------------|------|----|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | 標準図 該当項 | | | 資 料 | 写 真 | | | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 | | |
| 施 工 | 架空配線 | 建柱及び 装柱 | 種類・寸法・位置 根入れ長さ(末口19cm以下, 全長15m以下: 1/6以上) 根かせ位置 (地下0.3m以上) | 第2編 2.12.1 | 電力 194 | 立 1箇所以上施工立会い, 目視確認する。 | 施工計画書 施工図 施工報告書 | 掘削 根かせ取付等 の状況 | 1枚/本 | | | |
| | | | 腕金・足場釘の位置・方向 | 第2編 2.12.2 | 目視確認する。 | | | | | | | |
| | | | 腕金等の支持 | 第2編 2.12.3 | | | | | | | | |
| | | | がいしの種類・位置 接地線の挿入 電柱への名札取付 | 第2編 3.12.1 | | | | | | | | |
| 支線及び 支柱 | 種類・寸法・位置 根開き (地上高の1/2) 根かせ位置 支線ガード・玉がいしの取付及び位置 (高圧線より0.2m以上, 低圧線より0.1 m以上離隔) 支線の防食処理 | 第2編 2.12.6 | 立 1箇所以上施工立会い, 目視確認する。 | 施工計画書 施工図 施工報告書 | 掘削 根かせ取付等 の状況 | 1枚/本 適宜 | | | | | | |
| | | 第6編 | | | | | | | | | | |
| 架線(架空 ケーブルを 含む) | 種類・サイズ・位置 屋内引込口 架線相互・工作物等との離隔 ちょう架用線への支持間隔(0.5m以下) 電線接続位置(張力のかからない位 置)・絶縁処理 | 第2編 2.12.4 | 目視確認する。 | 施工計画書 施工図 施工報告書 | 適宜 | | | | | | | |
| | | 第6編 2.11.2 | | | | | | | | | | |
| 地中配線 | 掘削及び 埋戻し | 他の埋設物の有無 掘削幅・深さ 埋戻し締固め 埋戻し土 | 第2編 2.13.1 2.13.2 第6編 2.12.1 | 立 1箇所以上施工立会い, 目視確認する。 | 施工計画書 施工図 施工報告書 | 掘削状況 (深さ, 幅) 埋設状況 | 1枚/ 工程ごと | | | | | |
| | | 管路の布設 | 種類・条数・サイズ 位置・経路 埋設深さ | | | | | 第2編 2.13.4 第6編 2.12.2 | 立 1箇所以上施工立会い, 目視確認する。 | 施工計画書 施工図 施工報告書 | 埋戻し前 | 1枚 |
| | | | 接続 金属管の防食処理 | | | | | | | | | |

2 電力設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | | | | |
|--|-------------|------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------|----------------|------------------|--------------------|-------------------------------|---------|---------------|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | 標準図 該当項 | | | 資 料 | 写 真 | | | | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 | | | |
| 施 工 | 地中配線 | ハンドホール・マンホール の 布設 | 種類・寸法・位置 配筋・型枠 レベル | 第2編 2.13.3 | | 立 1箇所以上施工立会い,目視 確認する。 | | 施工計画書 施 工 図 | 掘削深さ,基礎 の施工状況 | 1枚/ 工程ごと (個) | | | |
| | | | ケーブル支持金物の取付 接地 | 第6編 2.12.1 | | | | | | | ブロック形 (組織状配,管貫 通部の補修状況) | | |
| | | | 水抜きの有無 (地下水位) | | | | | | | | | 蓋枠の取付状況 | |
| | | | 蓋の耐荷重・防錆 用途表示 | | | | | | | | | | 管端仕上げ処理 状況 |
| | | | 内部仕上げ 管路接続部の処理 | | | | | | | | | | |
| | 管路の布設 | 建物引込み部の耐震処置 防水処置 | 第2編 2.13.4 第6編 2.12.2 | 電力 154~ 156 190~ 193 | 立 1箇所以上施工立会い,目 視確認する。 | | 処理状況 | 1枚 | | | | | |
| | ケーブルの 布設 | 管路内清掃 | 第2編 2.13.5 | | 目視確認する。 | | 施工計画書 施 工 図 | | ケーブル布設状 況 | 1枚/ 個 | | | |
| | | ハンドホール・マンホール内 でのケーブル支持・余長 | 第6編 2.12.3 | | | | | | | | 防水処理状況 | | |
| | | 引込口等の防水処理 | | | | | | | | | | 防水接続状況 | |
| | | ハンドホール・マンホール内 でのモールド接続 | | | | | | | | | | | 1枚/ 工程ごと |
| ハンドホール・マンホール内 のケーブルに名札取付け(回路・行 先等) | | 第2編 2.13.5 | | | | | | | | | | | |
| 埋設標及び高圧ケーブル標識シ ートの布設 | | | 電力 194 | 目視確認する。 | | 埋設シートの布設 状況 | 1枚/ 箇所 | | | | | | |

2 電力設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | |
|------------------|------------------|---|--|------------------------------|--|---|-----------------------|-----------------------|---------------------|-----------|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | 標準図 該当項 | | | 資 料 | 写 真 | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 |
| 施 工 | 接地極 (電力・通信等) | 第1種 | 種類・個数・位置(ガス管との隔 埋設深さ(0.75m以上) 極相互の間隔(2m以上) 接地線の太さ,種別 保護管の別,サイズ,水切り処理 埋設標(表示内容) | 第2編 2.14節 第6編 2.13節 | | 立 各種ごとに1箇所以上施工 立ち会い,全数目視確認する。 目視確認する。 | | 施工計画書 施工図 試験成績書 | 埋設状況 | 1枚/ 箇所 |
| | | 第2種 | | | | | | | | |
| | 機器の取付け (避雷設備) | 第3種 | アンカーボルトの取付(太さ・数) 支持金物への取付け | 第2編 2.18.2 | | 全数目視確認する。 | | 施工計画書 施工図 施工報告書 | | 適宜 |
| | | 特別第3種 | | | | | | | | |
| | 機器の取付け (避雷設備) | 共同 | 支持管への取付け位置・高さ 保護角(60度)導線との接続 | 第2編 2.18.5 | | 全数目視確認する。 | | 施工計画書 施工図 施工報告書 | 取付状況 | 1枚/ 箇所 |
| | | 通信 | | | | | | | | |
| | 機器の取付け (避雷設備) | 避雷針突針 支持管 | 種類・位置・保護範囲 周辺の金属製工作物との接続(導線 及び棟上げ導体から1.5m以下に近接 した金属体) 支持方法・間隔(0.6m以下) 接続・伸縮継手(30m以下)・間隔 | 第2編 2.18.5 | 電力 170 | 全数目視確認する。 | | 施工計画書 施工図 施工報告書 | | 適宜 |
| | | 突針 | | | | | | | | |
| | 機器の取付け (避雷設備) | 棟上導体 | 種類・サイズ ^{38°} 以上の銅より線位置 支持間隔(水平0.6m以下,垂直1.0 m以下) | 第2編 2.18.3 | | 目視確認する。 | | 施工計画書 施工図 施工報告書 | | 適宜 |
| | | 避雷導線 | | | | | | | | |
| 機器の取付け (避雷設備) | 避雷導線 | 接続方法・鉄筋等への接続 電力線・ガス管等との離隔(1.5m以 上)水切り | 第2編 2.18.5 | 電力 172 | 立 1箇所以上施工立ち会い,目視 確認する。 目視確認する。 | | | 接続状況 | 1枚/ 箇所 適宜 | |
| | 接地極 | | | | | | | | | |
| 機器の取付け (避雷設備) | 接地極 | 位置・数量抵抗値(総合10以下) 埋設深さ(地下0.75m以上) ガス管等の離隔(1.5m以上) 極相互の間隔(2m以上) 保護管 水切り 埋設標 | 第2編 2.18.4 第2編 2.18.7 | 電力 178 | 立 1箇所以上施工立ち会い,目視 確認する。 | | 施工計画書 施工図 試験成績書 | 埋設状況 | 1枚/ 個 | |
| | 接地極 | | | | | | | | | |

3 発電設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | |
|------------|-------------|-----------------------------------|----------------------------|------------------------|--------------|---------------|-----------------------|-------------------------|-----|-----------------------|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | 標準図 該当項 | | | 資 料 | 写 真 | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 |
| 機 材 | 発電設備 | 太陽光発電装置 | 太陽電池 モジュール・ アレイ | 形式 性能 外観 表示 | 第5編 1.5.2 | 検査 全数確認する。 | | 製作図 試験成績書 材料搬入報告書 | | |
| | | | 接続箱 | 形式 構造 定格・表示 | 第5編 1.5.3 | | | 製作図 試験成績書 材料搬入報告書 | | |
| | | | パワーコンデ ション・系統 連系保護装置 | 形式 構造・性能 外観・表示 | 第5編 1.5.4 | | | 製作図 試験成績書 材料搬入報告書 | | |
| | | | 架台等 | 製造者の標準 | 第5編 1.5.5 | | | 製作図 材料搬入報告書 | | |
| | | | 予備品等 | 種類 数量 製造者標準付属品一式 | 第5編 1.5.7 | | | 予備品等一覧表 | | |
| 施 工 | 太陽光発電装置の据付け | 太陽電池ア レイ及び 接続箱 | 位置・固定 保守性 耐震処置 | 第5編 2.3.1 | 立 全数確認する。 | | 施工計画書 施工図 施工報告書 | | | |
| | | 盤類 | 地震時の水平移動 耐震処置 | 第5編 2.3.2 | | | 全数確認する。 | | | 施工計画書 施工図 施工報告書 |
| 施工の 試 験 | 太陽光発電装置の試験 | 外観 構造 絶縁抵抗 継電器特性 総合動作 | | 第5編 2.5.4 | 承 全数確認する。 | | 試験成績表 | 試験状況 | 適宜 | |

4 通信, 情報設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | |
|-----|--------------------|----------------|---|--------------|---------------|---------|-------------------------|---------|-----|-----|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | 標準図 該当項 | | | 資 料 | 写 真 | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 |
| 機 材 | 構内情報 通信網 装 置 | 一般事項 | 形式 機能 インターフェイス 規格容量 環境条件 社内規格 特記確認 表示 関係法令に適合 | 第6編 1.5.1 | 通信7 検 承 | 全数確認する。 | 製作図 試験成績書 材料搬入報告書 | 機材状況 | 1枚 | |
| | | リピータ | 形式 機能 インターフェイス | 第6編 1.5.2 | | | | | | |
| | | ルータ | 形式 機能 インターフェイス | 第6編 1.5.3 | | | | | | |
| | | スイッチ | 形式 機能 インターフェイス | 第6編 1.5.4 | | | | | | |
| | | ファイアウォール | 形式 機能 インターフェイス | 第6編 1.5.5 | | | | | | |
| | | ネットワーク 管理装置 | 形式 機能 | 第6編 1.5.6 | | | | | | |
| | | 収納ラック | 構造 寸法 材質 色 | 第6編 1.5.7 | | | | | | |
| | | 予 備 品 | 種別 数量 (製造者標準品一式) | 第6編 1.5.8 | | | 予備品等一覧表 | | | |

4 通信, 情報設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | |
|-----|-------------|-------------|---|----------------|------------|--------------|-------------------------|---------|-----|---------|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | 標準図 該当項 | | | 資 料 | 写 真 | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 |
| 機 材 | 構内交換 装 置 | 交 換 機 | 本体 形式 構造・規格・容量 機能・表示 社内規格 関係法令に適合 電源装置 形式 構造・規格・容量 定格・JIS・SBA 社内規格 蓄電池収納部の耐酸・耐アル カリ塗装 キャビネット 形式 表示 | 第 6 編 1.6.2 | 通信 8 | 検 全数確認する。 | 製作図 試験成績書 材料搬入報告書 | 機材状況 | 1 枚 | |
| | | 局線中継台 | 形式 構造 規格・容量 関係法令に適合 | 第 6 編 1.6.3 | | | | | | |
| | | 電話機 | 形式 構造・規格 機能・色 社内規格 表示事項 多機能電話機 停電用電話機 局線受付電話機 コト`以電話機 FAX 関係法令に適合 | 第 6 編 1.6.4 | | 検 各種ごとに確認する。 | | | | |
| | | ホ`外電話 装置 | 形式 容量 機能・構造 社内規格 関係法令に適合 | 第 6 編 1.6.5 | | 検 全数確認する。 | | | | |
| | | 予 備 品 | 種別 数量 (製造者標準品一式) | 第 6 編 1.6.6 | | | | | | 予備品等一覧表 |

4 通信, 情報設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | 標準図 該当項 | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | | |
|-----|---------|------------------------|--|---------------------------|--------------|-----------|---------|-------------------------|------|-----|--------------|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | | | | 資 料 | 写 真 | | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 | |
| 機 材 | 拡声装置 | Hi形 増幅器 | 形式 構造 容量 性能 外観 社内規格 表示 | 第6編 1.9.2 | | 検 全数確認する。 | | 製作図 試験成績書 材料搬入報告書 | 機材状況 | 1枚 | |
| | | ス°-カ アッテナ | 形式 社内規格 外観 表示 | 第6編 1.9.3 | 通信35 通信36 | | | | | | 検 各種ごとに確認する。 |
| | | マイクロホン リモコンマイク | 形式 JIS 外観 | 第6編 1.8.6.1 1.8.9.4 | | | | | | | 検 全数確認する。 |
| | | カセットテープ レコーダ | 形式 社内規格 外観 | 第6編 1.8.6.2 | | | | | | | |
| | | CDプレーヤ | 形式 社内規格 外観 | 第6編 1.8.6.3 | | | | | | | |
| | | AM・FMアンテナ | | | | | | | | | |
| | 予 備 品 | 種別 数量 (製造者標準品一式) | 第6編 1.9.5 | | | | 予備品等一覧表 | | | | |

4 通信, 情報設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | | |
|-------|---------------|-----------------------------------|---------------------------------|--|---------------|----------------------|---------|-------------------------|------|-----|--------------|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | 標準図 該当項 | | | 資 料 | 写 真 | | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 | |
| 機 材 | 誘導支援 装置 | 音声誘導 装置 | 形式 社内規格 外観 表示 | 第6編 1.10.2 | | 検 承 全数確認する。 | | 製作図 試験成績書 材料搬入報告書 | 機材状況 | 適宜 | |
| | | 身体障害者 用インター ホン装置 | 形式 通話方式・回線数 外観 社内規格・表示 | 第6編 1.10.3 | 通信38 | | | | | | |
| | | トイレ等呼 出し装置 | 形式 回線数・外観 社内規格・表示 | 第6編 1.10.4 | 通信39 | | | | | | |
| | | 予 備 品 | 種別 数量（製造者標準品一式） | 第6編 1.10.5 | | | | | | | |
| | 呼出し装置 | インターホ ン/テレビ インターホ ン装置 | 形式 通話方式 外観 社内規格 表示 | 第6編 1.11.2 1.11.3 | 通信40 | 検 承 全数確認する。 | | 製作図 試験成績書 材料搬入報告書 | 機材状況 | 適宜 | |
| | | | 予 備 品 | 種別 数量（製造者標準品一式） | 第6編 1.11.4 | | | | | | |
| | テレビ共同 受信装置 | 混合器 増幅器 分岐器 分配器 直列エツト | 形式 性能 表示 外観 | 第6編 1.12.2 | 通信43 ~ 48 | 検 承 各種ごとに確認する。 | | 製作図 試験成績書 材料搬入報告書 | 機材状況 | 適宜 | |
| | | | アンテナ | 形式 性能・表示・外観 | 第6編 1.12.3 | | | | | | 通信41 ~ 42 |
| | | | アンテナ マスト | 材質・寸法・J I S 亜鉛付着量(350g/m ² (HDZ35)) S U S | | | | | | | |
| | | | 機器収納箱 | 形式 構造・寸法 外観 | 第6編 1.12.4 | | | | | | 通信49 |
| 予 備 品 | | 種別 数量（製造者標準品一式） | 第6編 1.12.5 | | | | 予備品等一覧表 | | | | |

4 通信, 情報設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | |
|-----|-----------------|--|---|---------------|--------------|----------------------|-------|-------------------------|------|-----|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | 標準図 該当項 | | | 資 料 | 写 真 | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 |
| 機 材 | テレビ電波 障害防除装置 | アンテナ 保安器 混合(分波器) 増幅器 分岐器 分配器 電源供給器 避雷器 直列エツト | 形式 性能 表示 外觀 通過電流容量 | 第6編 1.13.2 | 通信52 通信53 | 検 承 各種ごとに確認する。 | | 製作図 試験成績書 材料搬入報告書 | 機材状況 | 適宜 |
| | | ヘッドエンド 及び機器収 納箱 | 材料 構造 寸法 外觀 | 第6編 1.13.3 | | | | | | |
| | | アンテナ マスト | 材質・寸法・JIS 亜鉛付着量(350g/m ² (HDZ35)) | 第6編 1.12.3 | | | | | | |
| | | 予 備 品 | 種別 数量(製造者標準品一式) | 第6編 1.13.5 | | | | 予備品等一覧表 | | |

4 通信, 情報設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | | | | | |
|-----|--------------|-------------------|--|---|-----------------|-------------------|----------|----------------|------|---------|-------------------------------------|--------------------------|---------------|-------|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | 標準図 該当項 | | | 資 料 | 写 真 | | | | | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 | | | | |
| 機 材 | 自動火災 報知設備 | 受信機 発信機 中継器 | 形式 (P型・R型) 回線数 関係法令に適合 表示 外観 | 第6編 1.17.1 1.17.2 1.17.3 1.17.5 1.17.6 | | 検 承 全数確認する。 | | 製作図 材料搬入報告書 | 機材状況 | 1枚 | | | | |
| | | | | | | | | | | | 副受信機 CRT | 形式 性能 回線数 表示・外観 | 第6編 1.17.4 | |
| | | | | | | | | | | | | | | 感 知 器 |
| | | | | | | | | | | | 警報ベル 表示灯 機器収容箱 消火栓起動 装置 | 形式 外観 関係法令に適合 | 第6編 1.17.8 | |
| | | | | | | | | | | | | | | 予 備 品 |
| | 自動閉鎖 装 置 | 連動制御器 | 形式 回線数 関係法令に適合 表示 外観 | 第6編 1.18.1 1.18.2 | | | | 製作図 材料搬入報告書 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 自動閉鎖 装 置 | 形式 関係法令に適合 表示 | 第6編 1.18.3 | |
| | | 感 知 器 | 形式 作動表示 表示 外観 関係法令に適合 | 第6編 1.18.4 | 検 各種ごとに確認する。 | | | | | | | | | |
| | | | | | | 予 備 品 | 種別 数量 | 第6編 1.18.5 | | 予備品等一覧表 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |

4 通信, 情報設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | | | | | | | | | |
|-----|----------------|--------------|---|-----------------------------------|---------------------|---------------------------------|-------|--------------------------------|------------------------------|-----------|---------------|----------------------------|-----------------------|-----------|------------------------|---------------|-------------|--|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | 標準図 該当項 | | | 資 料 | 写 真 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 | | | | | | | | |
| 施 工 | 接地極 (通信) | 通信 | 種別 埋設深さ(0.75m以上) 極相互の間隔(3m以上) 避雷設備との間隔(5m上) 埋設標(表示内容) | 第6編 2.13.1 2.13.2 2.13.3 | 電力176 177 178 | 承 各種ごとに1箇所以上施工立 会い,全数目視確認する。 | | 施工計画書 施工図 | 埋設状況 | 1枚/ 箇所 | | | | | | | | |
| | 機器の取付 け(通信) | 端子盤 本配線盤 | 位置 高さ 固定 埋込蓋における壁面の納まり 保守スペース 耐震処置 配線接続 成端処置 表示 結線図の備え付け 盤内清掃 | 第6編 2.1.2 2.1.4 | | 承 全数目視確認する。 | | 施工計画書 施工図 施工報告書 耐震計算書 | 支持ホル ルの設置状況 耐震処置 状況 | 適宜 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 構内情報通 信網機器 | 保守スペース 位置 固定 耐震処置 | 第6編 2.14.2 | 承 全数確認する。 | 1枚 | | | |
| | | 構内交換機 中継台 | 保守スペース 位置 固定 機器間及び壁との離隔 形式 耐震処置 | 第6編 2.15.2 | | | | | | | | 承 全数確認する。 | | 適宜 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | 成端・配線処理 他の配線との離隔・接地 | 第6編 2.15.1 | 承 全数目視確認する。 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | 電線引入(出)口の保護 | 第6編 2.15.3 | | |
| | | 電話機 | 取付位置 コネクタの取付 電話機の引渡方法 | 第6編 2.15.2 | | | | | | | 承 全数確認する。 | | 施工計画書 施工図 施工報告書 | 適宜 | | | | |

4 通信, 情報設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | | |
|-----|------------|----------------------|---|---------------|------------|-------------|-----------------------|---------|-----------------------|------------|----------|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | 標準図 該当項 | | | 資 料 | 写 真 | | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 | |
| 施 工 | 機器の取付け(通信) | 呼出し機器 | 位置 形式 固定 配線処理 | 第6編 2.20.2 | | 承 全数目視確認する。 | 施工計画書 施工図 施工報告書 | 施工状況 | 適宜 | | |
| | | テレビ共同 受信関係 機器類 | 位置 接続 | 第6編 2.21.1 | | | | | | | |
| | | アンテナ | 位置 (避雷針の保護角に入る。) 方向 支持 ケーブルの接続及び支持 防水処理 他の配線, 機器との調整 | 第6編 2.21.2 | | | | | 取付状況 | 1枚/ 箇所 | |
| | | アンテナ マスト | 位置・固定 アンカーボルト | 第6編 2.21.2 | 通信50 51 | | | | アンカー ボルトの 設置状況 | 1枚/ 箇所 | |
| | | 電界強度の 測定 | 全チャンネル (受信レベル・画質) コンクリート打設直後 | 第6編 2.21.3 | | | | | 施工計画書 施工報告書 | 測定状況 | 適宜 |
| | | テレビ電波 障害防除 | 事前調査(場所・高さ・届出) 中間調査, 事後調査 | 第6編 2.22.6 | | | | | 施工計画書 施工図 施工報告書 | 各戸取付 状況 | 1枚/ 戸 |

4 通信, 情報設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | 管理方法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | | |
|-----|---|-----------------------------|---|---|------|-------------|-----------------------|------|-----------|-----|
| | 項目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | | | 標準図 該当項 | 資 料 | 写 真 | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 |
| 施 工 | 機器の取り付け (自動火災 報知設備 自動閉鎖設 備 非常警報設 備 ガス漏れ火 災警報設備) | 受信機 連動制御器 中継器 副受信機 | 設置場所 位置 固定 配線処理 調整 表示窓(警戒区域・名称) 警戒区域一覧表 取扱い 注意項 | 第6編 2.26.2 2.27.2 2.28.2 2.29.2 | | 承 全数目視確認する。 | 施工計画書 施工図 施工報告書 | 施工状況 | 1枚/ 箇所 | |
| | | 感知器 検知器 | 位置 警戒区域 感知(検知)区域 感知器の吹出口等との離隔 (1.5m以上, 煙感知器は壁 又梁から0.6m以上) 自動閉鎖装置の場合1.0m以上 | 第6編 2.26.2 2.27.2 2.29.2 | | | | 施工状況 | 適宜 | |
| | | 発信機 起動装置 非常ベル 表示灯等 | 設置場所 位置 発信機の押ボタン高さ (床面より0.8m~1.5m) | 第6編 2.26.2 2.27.2 2.28.2 2.29.2 | | | | | | |

4 通信, 情報設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | |
|---------------------|---------------|-------------|--|-------------------------------------|--|--|-------|---------|------|-----|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | 標準図 該当項 | | | 資 料 | 写 真 | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 |
| 施工の 試験 | 構内情報通 信網設備 | 機 能 | パケット送受信機能 | 第6編 2.30.2 表2.30.4 表2.30.5 | 通信7 | 承 近端通信確認(1) 近端通信確認(2) 遠端通信確認 | | 試験成績書 | 試験状況 | 適宜 |
| | 構内交換 設 備 | 機 能 | 製造者の社内規格 基本機能 基本サービス機能 付加サービス機能 | 第6編 2.30.2 表2.30.6 | | 承 全数確認する。 (基本, サービス, 付加) | | | | |
| | 拡声設備 | 動 作 | | 第6編 2.30.2 | | 承 全数確認する。 | | | | |
| | 呼出し設備 | 動作試験 | | 第6編 2.30.2 | | 承 全数確認する。 | 試験成績書 | 試験状況 | 適宜 | |
| | テレビ共同 受信設備 | 電界強度 測定 | | 第6編 2.30.2 | | 承 全数確認する。 (全チャンネル, 受信レベル, 画質) | | | | |
| | | 出力レベル 測定 | UHF, VHFは, 75dB以上 BSは, 55dB以上 | 第6編 表2.30.9 | | 承 全数(端末直列ユニット)確認 する。 (全チャンネル, 受信レベル, 画質) | | | | |
| テレビ電波 障害防除 設備 | 電界強度 | | 第6編 2.30.2 表2.30.10 | | 承 各戸の各チャンネル。共同受信 は全数(端末直列ユニット)確認 する (全チャンネル, 受信レベル, 画質) | | | | | |

4 通信, 情報設備工事

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | |
|---------------------|--------------|--------------|------------|---------------------------|------------|----------|-------|---------|------|-----|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | 標準図 該当項 | | | 資 料 | 写 真 | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 |
| 施 工 の 試 験 | 自動火災 報知設備 | | 消防庁告示の試験基準 | 第6編 2.30.2 | | 承 全数確認する | | 試験成績書 | 試験状況 | 適宜 |
| | 自動閉鎖 設 備 | 煙感知器 動作 | 動作時間 | 第6編 2.30.2 表2.30.14 | | | | | | |
| | | 自動閉鎖 装置動作 | | | | | | | | |
| | | 連動制御器 動作 | 製造者の社内規格 | | | | | | | |
| | 非常警報 設 備 | | 消防庁告示の試験基準 | 第6編 2.30.2 | | | | | | |
| ガス漏れ 火災警報 設 備 | | 消防庁告示の試験基準 | | | | | | | | |

5 共通事項（絶縁抵抗，接地抵抗）

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | |
|--------------|---------|--|---|----------------------------------|------------|---------------|-------|----------------|------|-----|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | 標準図 該当項 | | | 資 料 | 写 真 | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 |
| 施 工 の 試 験 | 電力配線 | 屋内・屋側 配線及び 架空・地中 配線の絶縁 抵抗値 | 配線完了後(500V㏪) 電線相互間 (5M 以上) 電線と大地間 (5M 以上) | 第2編 1.19節 2.1.13 表2.1.2 | | 承 全回路測定し確認する。 | | 施工計画書 試験成績書 | 測定状況 | 適宜 |
| | | | 機器接続後及び平形保護層配 線の大地間(1M 以上) (制御機器接続時の絶縁測定器 の選定) | | | 承 全回路測定し確認する。 | | | | |
| | | 高圧配線の 絶縁耐力 | 電線相互間 電線と大地間 | 第2編 2.19節 2.1.13 | | 承 全回路試験し確認する。 | | | | |
| | 通信配線 | 屋内・屋側 配線の絶縁 抵抗値 | 配線完了後(250V㏪) 電線相互間 (5M 以上) 電線と大地間 (5M 以上) | 第6編 2.30節 2.1.12 | | 承 全回路測定し確認する。 | | 施工計画書 試験成績書 | 測定状況 | 適宜 |
| | | | 機器接続後大地間(250V㏪) (1M 以上) (UTPケーブルを除く。) | | | 承 全回路測定し確認する。 | | | | |
| | | 架空配線・ 地中配線の 絶縁抵抗値 | 配線完了後(250V㏪) 電線相互間 (5M・km以上) 電線と大地間 (5M・km以上) | 第6編 2.30節 2.1.12 | | 承 全回路測定し確認する。 | | | | |
| | | 機器接続後大地間(250V㏪) (1M・km以上) (UTPケーブルを除く) | | 承 全回路測定し確認する。 | | | | | | |

5 共通事項（絶縁抵抗，接地抵抗）

| 区分 | 管 理 内 容 | | | | | 管 理 方 法 | 管理目標値 | 提 出 資 料 | | |
|--------------|------------------|-----------------|--|---------------------------------|------------|--------------------------------|-------|----------------|------|-----|
| | 項 目 | 細 目 | 要 点 | 共仕該 当項目 | 標準図 該当項 | | | 資 料 | 写 真 | |
| | | | | | | | | | 内 容 | 枚 数 |
| 施 工 の 試 験 | 通信配線 | UTPケーブル 伝送品質 | 機能試験 導通， 対の配置， 長さ | 第6編 2.30.2 表 2.30.2 | | 承 全回路測定し確認する。 | | 施工計画書 試験成績書 | 測定状況 | 適宜 |
| | | | 減衰量， 近端漏話減衰量， A C R | 表 2.30.2 2.30.3 | | 承 標準試験回線数を測定し確認する。 | | | | |
| | | 光ファイバ - 伝送損失 | 機器及びケーブル間の接続損失 | 第6編 2.30.2 2.8.4 2.8.5 | | 承 全回路測定し確認する。 | | | | |
| | 接地抵抗 (電力・通信他) | 接地極の接 地抵抗値 | 接地種別 A種10 以下 B種150 / (1線地絡電流)以下 C種10 以下 D種100 以下 避雷用10 以下 電話引込口の保安器 拡声用100 以下 | 第2編 2.19.2 第6編 2.30.2 | | 承 全箇所測定に立会い確認する (埋設標記入値確認)。 | | 施工計画書 試験成績書 | 測定状況 | 適宜 |